



禮記卷之三

遠 13
1556
3



門へ達 13
1556
巻 9

柳の枝新赤巻

せんくちの国

山さうはんく店とむらび屋家小はく人

まよきくくじたらむさぞ面白さうであ

ろくろくまきいりまかんまよの人あんさ

まへぼくくくくくび。乃びくくくく金

あーいなあ

あびんの花



とんとうな男家を考とくちんぞわづら
しき物不花をいんとうひ志びんと買
こし里て花生とさりれバ客とれとみそて
い志あよび花生い志びんごいご重
せせんくさされれバ亭主あるそ
さうな名をさるていごさ里せん

いとちを親又

さうあかといぢちをト色しふ損と由こ
ととさらふくささくおも辰付あくと

いとあもどもそのゆとゆとさうく松とハ
いとさぐつるとさむせめがちとつと先
いとあよをりまよとさまざりれ親又印右
いとりてぞれくぞれがたしあみれ葉乃
いと中辰とのゆとそ

いと歌くちやい

いと人子ほけく花りれバ次男の名と幸地
いと高し付くともいふ公時と付とせ
いとふ又花りれバ親又あつささくね歌

このとをこまごまこでこりさぬバをぬぐはぬと
どうもやうと

火田の掛軸

さきふく火の輪の掛軸とゆうかんざんびーれが
下の何をしとあつてまひりけいといさーく
さて何うをあのう入と所と七かハとさうあらハ
んとよさそさうをさのぐーんまのまはとゆう人を
御座がえさされるハいやくまご目れ竹まて
ハゆぬ

三之巻終



